

問1 1853年にペリーが浦賀へ来航した際に率いてきた、当時の日本人が驚いた蒸気船などの近代的な軍艦を何という？

1. 南蛮船 2. 遣唐使船 3. 黒船 4. 朱印船

問2 1858年に日本が結んだ日米修好通商条約において、日本が認めてしまった、外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁くことができない権利を何という？

1. 片務的最恵国待遇 2. 関税自主権の欠如 3. 居留地権 4. 領事裁判権

問3 1866年、対立していた薩摩藩と長州藩を仲介し、両者の和解を実現させた土佐藩出身の人物は誰？

1. 大久保利通 2. 坂本龍馬 3. 木戸孝允 4. 西郷隆盛

問4 1858年に江戸幕府がアメリカなどと結んだ、自由貿易の開始を認めることになった条約を何という？

1. 日米修好通商条約 2. 日米和親条約 3. 日清修好条規 4. 日露和親条約

問5 1864年に長州藩による外国船砲撃への報復として、イギリス・フランス・アメリカ・オランダが下関を攻撃するために編成した艦隊を何という？

1. 連合艦隊 2. 北洋艦隊 3. 四国艦隊 4. 黒船艦隊

問6 幕末の開国後、アメリカをはじめとする外国と結ばれ、生糸などの輸出が始まったことで国内の物価上昇を招いた条約を何という？

1. 日英修好通商条約 2. 日米和親条約 3. 日仏修好通商条約 4. 日米修好通商条約

問7 黒船の来航を目にした当時の日本人が抱いた、計り知れない驚きや精神的揺らぎを何という？

1. 動揺 2. 衝撃 3. 混乱 4. 困惑

問8 19世紀、欧米列強がアジア近海で航行するために不可欠とし、燃料補給地を求めて日本への開国要求を強める要因となった船舶を何という？

1. 蒸気船 2. 帆船 3. 商船 4. 軍艦

問9 日米和親条約によって、箱館とともに開港された港を何という？

1. 長崎 2. 箱館 3. 下田 4. 横浜

問10 坂本龍馬が長崎で組織した、日本初の商社といわれる組織を何という？

1. 海援隊 2. 奇兵隊 3. 新選組 4. 龜山社中

問11 坂本龍馬が仲介し、1866年に薩摩藩と長州藩の間で結ばれた軍事同盟を何という？

1. 開国進取 2. 薩長同盟 3. 公武合体 4. 尊王攘夷

問12 幕府が1825年に出した、近づいてくる外国船を武力で追い払うように命じた法令を何という？

1. 異国船打払令 2. 禁教令 3. 日米和親条約 4. 修好通商条約

問13 ペリー来航により崩壊した、江戸幕府が長く続けていた外交方針のことを何という？

1. 大政奉還 2. 廃藩置県 3. 鎖国 4. 版籍奉還

問14 イギリスと清が戦ったアヘン戦争の講和条約が結ばれたのは何年？

1. 1854年 2. 1858年 3. 1853年 4. 1840年

答え合わせ・解説

問1	答え 3 黒船	1853年、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーは4隻の軍艦を率いて浦賀沖に現れました。船体が黒く塗られていたことから、当時の人々はこれらを黒船と呼びました。圧倒的な軍事力を誇示された幕府は、大きな衝撃を受けました。
問2	答え 4 領事裁判権	日米修好通商条約は、日本にとって「領事裁判権」を認めず、「関税自主権」もないという、主権を侵害された極めて不平等な内容でした。領事裁判権とは、日本にいる外国人が罪を犯しても、日本が日本の法律で裁くことができず、その外国人の国の領事が自国の法律で裁く権利のことです。
問3	答え 2 坂本龍馬	土佐藩を脱藩した坂本龍馬は、倒幕のためにはこの二藩の協力が必要であると考えました。そこで、両藩の指導者たちを引き合わせ、1866年に薩長同盟を成立させました。また、海援隊の前身となる亀山社中を作り、貿易や輸送にも力を注ぎました。
問4	答え 1 日米修好通商条約	大老の井伊直弼が朝廷の許可を得ないまま独断で調印しました。この条約では、日本が外国に対して関税を決める権利（関税自主権）がないことや、外国人の犯罪を日本が裁けないこと（領事裁判権の承認）など、日本に不利な不平等条約でした。
問5	答え 3 四国艦隊	1864年、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの四カ国は艦隊を編成し、下関を砲撃しました。この「四国艦隊下関砲撃事件」により、長州藩の砲台は破壊され、多額の賠償金も課せられることになりました。
問6	答え 4 日米修好通商条約	1858年、大老の井伊直弼は朝廷の勅許を得ないまま、アメリカ総領事ハリスと日米修好通商条約を結びました。これにより函館・横浜・長崎などの開港と、治外法権の承認、関税自主権の喪失が決定しました。以後、同様の条約が英・仏・露・蘭とも結ばれ、安政の五カ国条約と呼ばれます。
問7	答え 2 衝撃	「黒船」は単なる船ではなく、当時の日本の軍事力の限界を突きつける近代兵器の塊でした。幕府の役人や市井の人々は、かつてない強大な力に圧倒され、国家の存続を脅かす事態に強い精神的な揺らぎを覚えました。当時の狂歌に詠まれるほど、この出来事は人々の記憶に強く刻まれました。
問8	答え 1 蒸気船	太平洋航路の開拓において、日本はちょうどアメリカとアジアの中継地点に位置していました。列強は航行距離を延ばすために、日本を燃料補給基地として利用することを強く望みました。そのため、日本に対し開港を求める圧力が非常に強まりました。
問9	答え 3 下田	下田は現在の静岡県に位置する港町です。和親条約により、アメリカ船への燃料・食料の供給を目的として箱館とともに開港地に選ばれました。初代アメリカ総領事ハリスが滞在了玉泉寺があることで有名です。
問10	答え 4 亀山社中	坂本龍馬が土佐藩などを脱藩した志士たちと共に、長崎で設立したのが亀山社中です。単なる商社ではなく、薩長同盟を裏から支えるような兵器の購入や運搬、さらには海運業を担う組織として活動しました。これが、後の海援隊へと発展していくことになります。
問11	答え 2 薩長同盟	坂本龍馬や中岡慎太郎の尽力により、京都で西郷隆盛と木戸孝允が会談し、薩長同盟が成立しました。この同盟により、両藩は武器や物資の融通を行い、強力な軍事力を保持することになりました。
問12	答え 1 異国船打払令	1825年、江戸幕府は「異国船打払令」を出し、日本に近づく外国船を無条件で攻撃して追い払うよう命じました。これにより、武力による攘夷の姿勢が明確になりました。
問13	答え 3 鎖国	長年にわたり、外国との交流は長崎でのオランダや中国との限られた貿易のみに制限されていました。しかし、1854年の日米和親条約により、この体制は事実上終了しました。
問14	答え 4 1840年	清政府がアヘンの取り締まりを強化したことに対し、イギリスが武力介入したのがアヘン戦争です。1840年に始まったこの戦いは、近代的な武器を持つイギリスの圧倒的勝利に終わりました。戦後の南京条約により、清は多額の賠償金と領土の割譲を強いられました。